けいせん

2020.3.13

♪つくしのようにすくすくと　主イエスのこどもよ　のびてゆけ
めだかのようにすいすいと　主イエスのこどもよ　すすみゆけ
ひばりのようにそらたかく　主イエスのこどもよ　のぼりゆけ
すみれのようにあいらしく　主イエスのこどもよ　さきにおえ
（幼児さんびか　50）

卒園・進級の時を迎えました。"ランドセルの色はね…" "ぼくは〇〇小学校！" "もうすぐももぐみになる！"…と次のステップをたのしみにしている子、新しい生活が始まることにドキドキしている子と様々ですが、どの子もその子なりに「節目」を感じながら過ごしているようです。期待と不安が入り交じるこの時にこそ、子どもたちに（大人にも）大切なのは安心感なのではないでしょうか。

私たちの人生の中にはたくさんの節目があります。その度に選択を迷ったり、これでよかったのかと考えたり、新しい一歩を出すのが不安になったり…をくり返します。その時支えになるのが「自分は一人ではない」「自分は大切な存在なんだ」と感じることだと思うのです。いつも自分のことを愛してくれるお父さん・お母さん、まわりの人がいること、想ってくれる仲間がいること、そして神様が共にいてくださることを知っていることは、なんと大きな力となることでしょう。

お父さん　お母さんと一緒に手をつないで歩いた幼稚園・バス停までの道のり、お母さん（お父さん）の想いがいっぱいつまったお弁当、大すきなおともだち・せんせいと遊んだ日々、好きなことに夢中になって過ごした幼稚園での生活、ともにさんびかをうたいお祈りした礼拝、そのひとつひとつの想い出や経験が子どもたちの心の支えとなり安心感となり、また新たなスタートラインに立つことができますように、自分らしく一歩をふみ出すことができますように、と心から願っています。

心も体も大きくなり新しい歩みを始める子どもたち、ご家族の皆様の上に神様のお守りと祝福がゆたかにありますようお祈りいたします。